

ダムの防災操作（洪水調節）による効果のお知らせ

令和4年9月9日
土木建築部河川課

令和4年9月5日から6日の台風11号による降雨で大分県が管理する下記の1ダムにおいて、洪水の一部をダムに貯留すること（洪水調節）で、下流河川の水位上昇を抑制したことについてお知らせします。

1. 防災操作（洪水調節）実施ダム

ダム名	所在地	河川名	防災操作日時	
			開始	終了
① 北川ダム	佐伯市宇目大字南田原	一級河川 五ヶ瀬川水系北川	9月6日 3:48	9月6日 5:15

※防災操作（洪水調節）：ダムに流れ込む水を一時的に貯留し、下流河川の水量を抑えることで、水位上昇を抑制すること。

2. 防災操作（洪水調節）の概要と効果

①北川ダム

- 最大流入量 215.4m³/s のうち 214.9m³/s をダムに貯め、下流へは 0.5m³/s を放流しました。
- 上記操作により、下流河川（熊田橋地点）において、河川水位を約 1.08m 低減させました。

【問い合わせ先】

河川課 ダム・海岸班

池辺・狩生・安部

【電話】097-506-4595（直通）



安心・活力・発展

大分県土木建築部

令和4年9月5日～6日の台風11号の影響による 北川ダム防災操作の効果について

令和4年9月6日

【速報推計】

台風11号の接近に伴い、8月31日19時から雨が降り始め6日3時までに累計208mmの降雨があり、3時48分には洪水量200m³/sに達し防災操作を開始した。

その後も流入量は増加し、6日4時30分には最大の215.4m³/sに達しました。その時点でのダムからの放流量(維持放流量のみ)は0.5m³/sで、ダムに流れこんだ水量の約99%にあたる、214.9 m³/sをダムに貯めました。

その後、降雨及び流入量は次第に減少し、6日5時15分には流入量が洪水量200m³/s以下に低下となり防災操作を終了しました。

総雨量は降り始めの8月31日19時から9月6日6時までに、211mmで時間最大雨量は、5日22時の24mmでした。

今回の防災操作により、下流河川(熊田橋地点)において、河川水位を約1.08m低減させたと推測しています。



問い合わせ先

大分県 土木建築部 河川課 ダム・海岸班

電話 (097)506-4595(直通)

大分県 芹川・北川ダム管理事務所 北川ダム管理支所

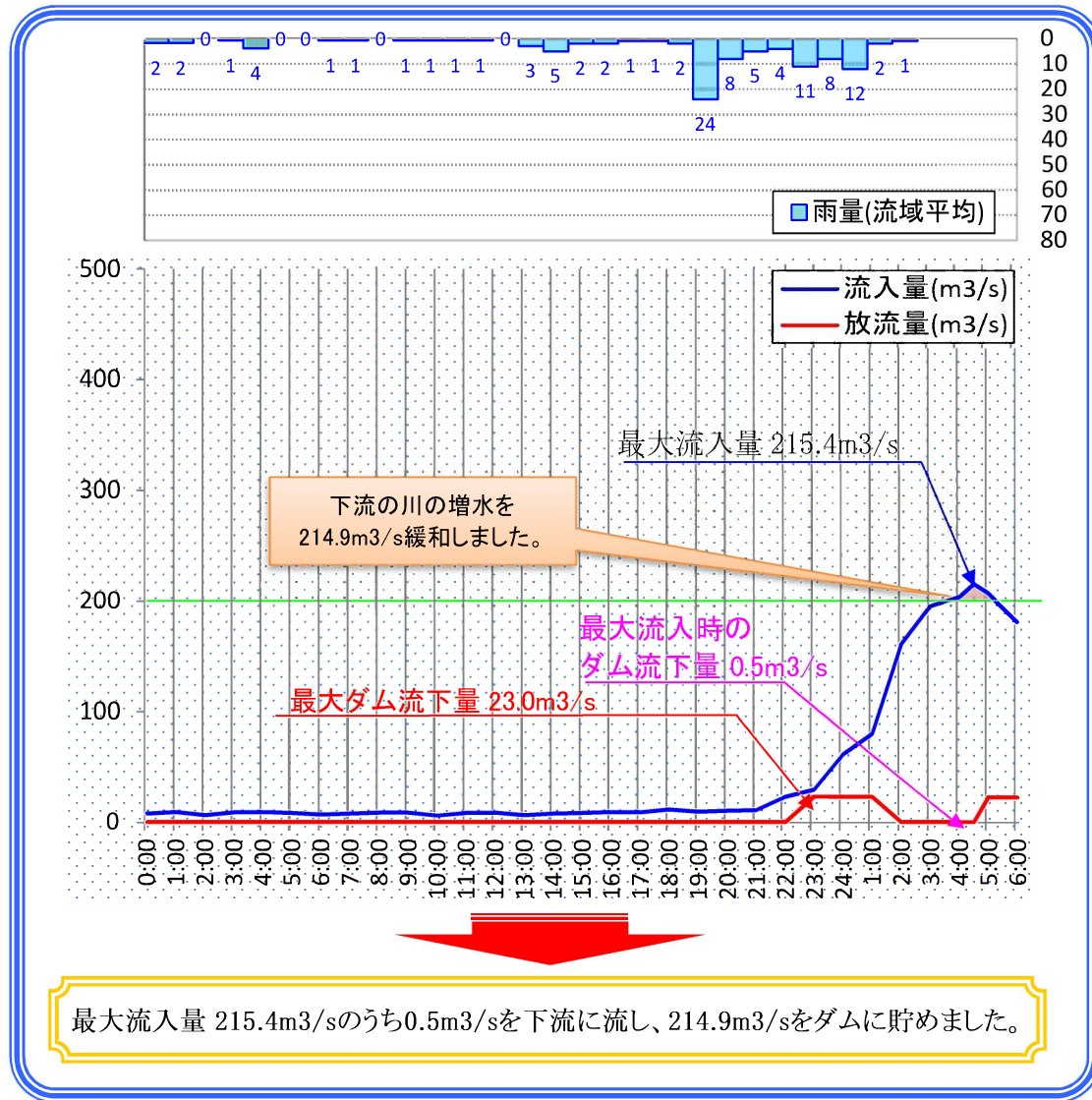
電話 (097)597-6890

令和4年9月5日～6日の台風11号の影響による 北川ダム防災操作の効果について

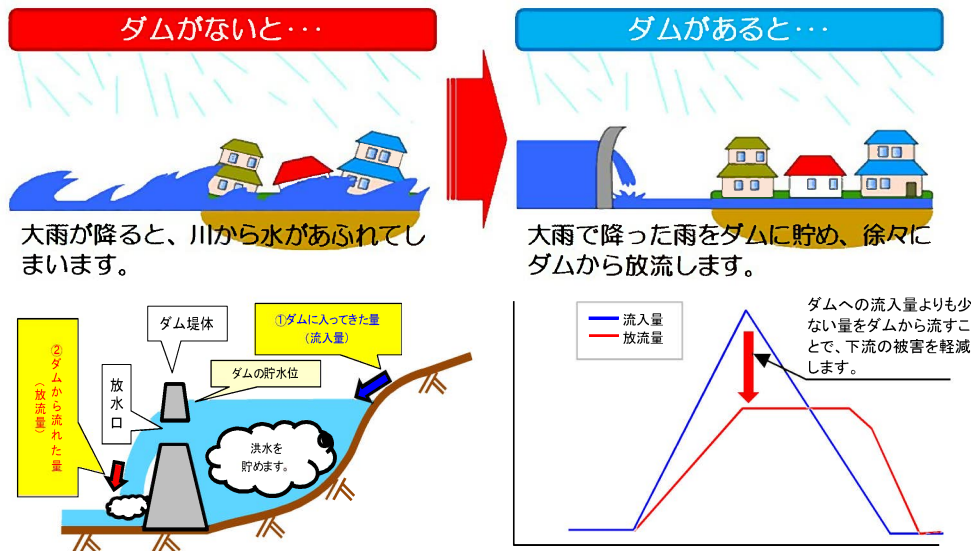
【北川ダム位置図】



【防災操作実績図(速報値)】

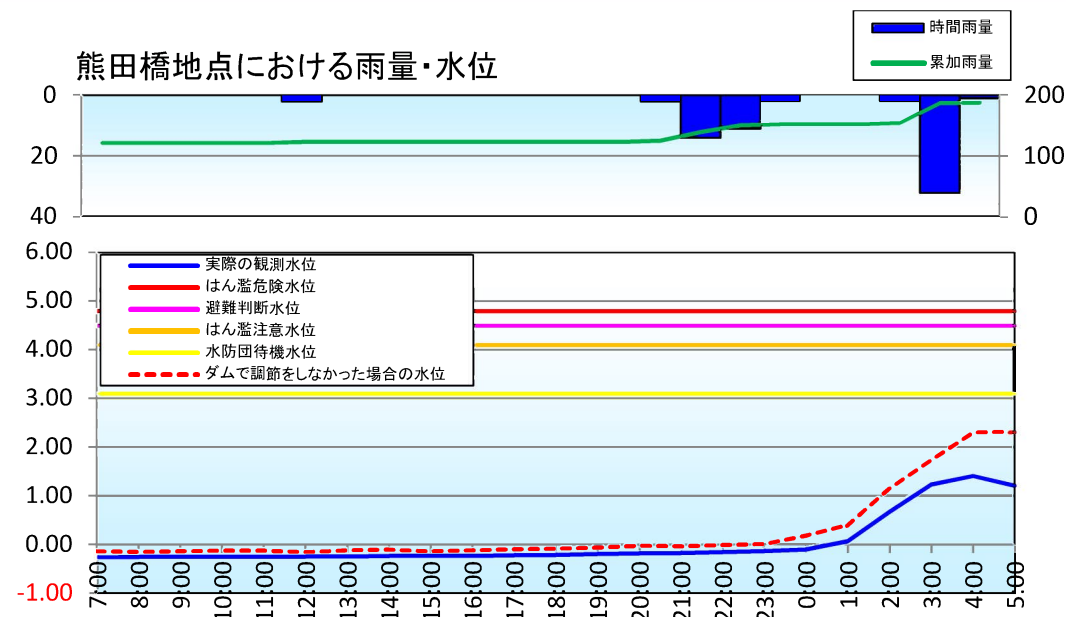
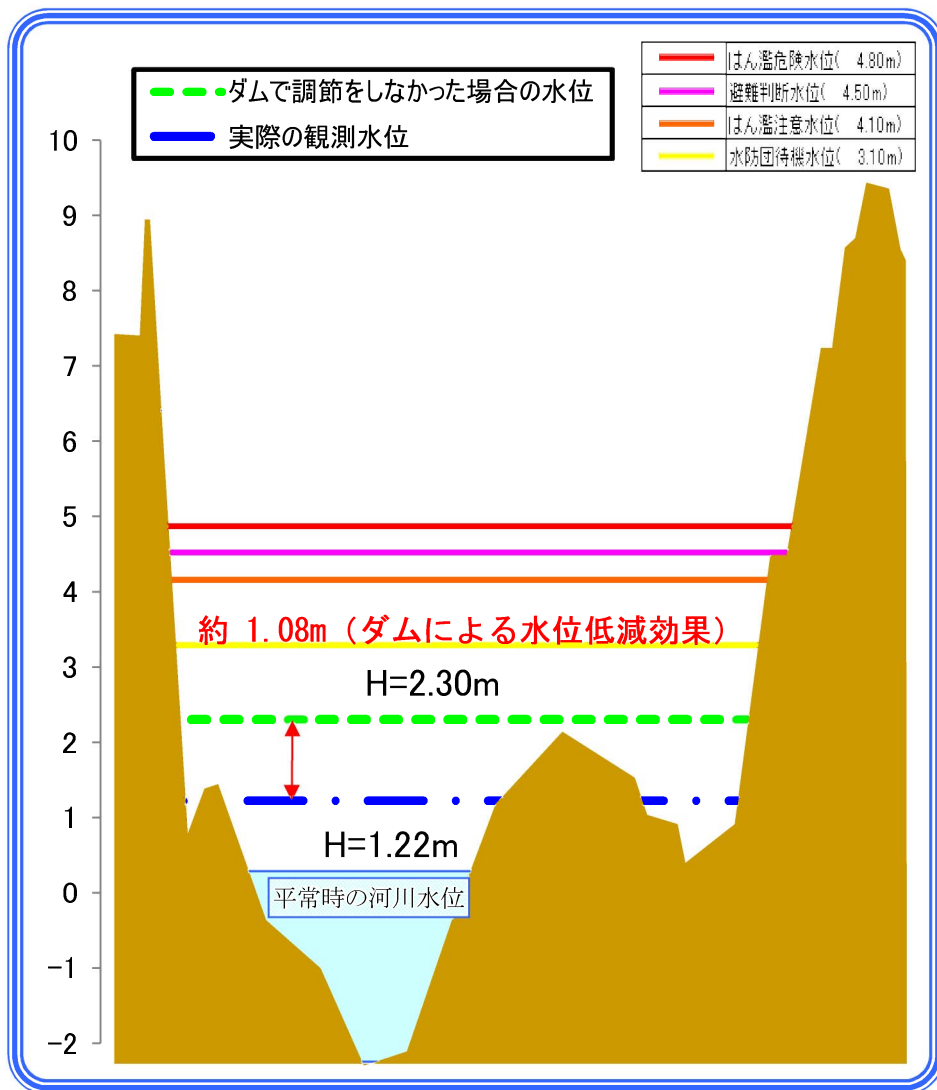


【ダムの治水効果】



令和4年9月5日～6日の台風11号の影響による 北川ダム防災操作の効果について

【 延岡市北川町 熊田橋地点(北川、小川合流点)の河川水位比較 】



(ダムで調節をしなかった場合の水位はおおよその推定です。)



北川



ダムで調節をしなかった場合の水位

実際の観測水位 (ダムがある場合)